



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆之

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-6824-9481

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,530	19.8	186		158		163	
2024年3月期中間期	1,907	1.1	107		79		46	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 136百万円 ( %) 2024年3月期中間期 28百万円 ( %)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.91	
2024年3月期中間期	0.82	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,519	2,926	83.2
2024年3月期	3,803	3,062	80.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 2,926百万円 2024年3月期 3,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.1	68		70		59	203.7	1.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	59,640,348 株	2024年3月期	59,640,348 株
-------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期中間期	3,395,907 株	2024年3月期	3,395,907 株
-------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	56,244,441 株	2024年3月期中間期	56,244,395 株
-------------	--------------	-------------	--------------

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績等の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調となりました。一方で、地政学的リスクへの懸念や、金融資本市場の変動等の影響もあり、消費マインドの動向および経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中し、成長分野への投資を継続的に推進し、成長のための基盤づくりを行ってまいりました。

ファッション事業においては、百貨店におけるシニアミセス向け婦人アパレルの強化と新規PB商品の開発・ポップアップストア出展を行い、マテリアル事業においては、サステナブル素材への切り替えや欧州展示会への出展に向けたプロジェクトの推進に取り組み、新たな価値創造を推進いたしました。

しかしながら、収益性を鑑みた取引先の取捨選択やマテリアル事業における中国内需の受注減などによる減収に加え、円安等による仕入コストの上昇や新たな価値創造に向けた投資もあり減益となりました。また、ライフスタイル事業のギフト部門を2023年6月30日に売却したことの影響もあり、全社において減収減益となりました。

この結果、売上高は15億30百万円（前年同期比19.8%減）、営業損失は1億86百万円（前年同期は営業損失1億7百万円）、経常損失は1億58百万円（前年同期は経常損失79百万円）、親会社株主に帰属する中間期純損失は1億63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間期純損失46百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (きもの事業)

百貨店部門は、商品調達・供給体制の改善、外商取組と現場力の強化や単独売場化により増収増益となった一方、専門店部門は、新商品の販売等新たな取り組みが一定の成果を得ましたが、既存大手量販店への小物販売が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は3億18百万円（前年同期比11.9%減）、営業損失は38百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

#### (ライフスタイル事業)

既存のヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が堅調に推移しましたが、新規プロダクト企画開発への投資を推進するとともにギフト部門の売却により減収減益となりました。

この結果、売上高は21百万円（前年同期比78.4%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

#### (ファッション事業)

D2C事業は、ブランドの取捨選択をするとともにポップアップストア出店、WEB広告の見直しなどを行い売上・営業利益は微増、卸事業におけるジュニア部門およびホームファッション部門は、円安による原価高が進行するとともに、酷暑と残暑の影響で秋物投入が進まず減収減益、ミセス部門は、PB品の受注ならびに催事販売が好調に推移し増収となるも、催事における人件費の増加ならびに百貨店向け新規PB商品の新規展開に伴う販売費の増加により増収減益となりました。イェリ（旧製品企画）部門は、新規ブランドは順調に伸ばしましたが、専門店向け販売が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は7億4百万円（前年同期比3.9%減）、営業損失は27百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

#### (マテリアル事業)

国内事業は、中国及び韓国向けの輸出売上が大幅に減少し、国内アパレルメーカーおよび糸商からの受注減により減収減益、上海事業は、大口取引先含む内需の受注が低調となり減収減益となりました。海外売上獲得において中国内シェアの向上に引き続き取り進む一方、欧州地域の海外売上獲得に向けた商品及び企画開発に伴う投資を推進いたしました。

この結果、売上高は4億80百万円（前年同期比32.5%減）、営業損失は19百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の概況

## (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は33億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億83百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2億50百万円増加したものの、短期貸付金が5億円減少したことによるものであります。固定資産は2億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が7百万円増加したものの、投資その他の資産「その他」が8百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は35億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少いたしました。

## (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が1億7百万円減少したことによるものであります。固定負債は26百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。これは主に、その他固定負債が4百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は5億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少いたしました。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は29億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が27百万円増加したものの、親会社株主に帰属する中間純損失計上による利益剰余金1億63百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は83.2% (前連結会計年度末は80.5%) となりました。

## ②キャッシュフローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物 (以下、資金という) は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し、6億70百万円となっております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、2億68百万円 (前年同期は43百万円増加) となりました。これは主に、売上債権の減少1億67百万円による増加要因はあったものの、税金等調整前中間純損失1億58百万円、棚卸資産の増加1億13百万円、仕入債務の減少1億6百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は4億95百万円 (前年同期は64百万円の増加) となりました。これは主に、貸付金の回収による収入30億30百万円、貸付による支出25億30百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の増減はありません。(前年同期は0百万の減少)

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1億90百万円及び経常損失1億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益19百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、前連結会計年度まで6期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	420,270	670,481
受取手形、売掛金及び契約資産	628,599	469,703
電子記録債権	100,868	102,720
商品及び製品	861,379	980,918
原材料及び貯蔵品	43,335	46,885
短期貸付金	1,500,000	1,000,000
その他	41,636	49,771
貸倒引当金	△10,198	△18,028
流動資産合計	3,585,891	3,302,451
固定資産		
有形固定資産	106,927	114,526
投資その他の資産		
その他	135,662	127,217
貸倒引当金	△24,771	△24,839
投資その他の資産合計	110,890	102,378
固定資産合計	217,818	216,904
資産合計	3,803,709	3,519,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,387	277,400
電子記録債務	280,864	173,376
未払法人税等	7,071	4,063
その他	152,231	111,204
流動負債合計	709,554	566,044
固定負債		
資産除去債務	8,460	8,499
その他	22,712	18,225
固定負債合計	31,172	26,724
負債合計	740,727	592,769
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	47,800	△115,637
自己株式	△389,576	△389,576
株主資本合計	2,994,914	2,831,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,628	9,892
為替換算調整勘定	57,438	85,217
その他の包括利益累計額合計	68,067	95,110
純資産合計	3,062,982	2,926,587
負債純資産合計	3,803,709	3,519,356

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,907,594	1,530,760
売上原価	1,365,779	1,027,507
売上総利益	541,814	503,252
販売費及び一般管理費	649,692	690,125
営業損失(△)	△107,878	△186,872
営業外収益		
受取利息	26,184	33,625
受取配当金	823	866
為替差益	2,317	-
その他	1,950	801
営業外収益合計	31,277	35,292
営業外費用		
支払利息	104	61
株主優待関連費用	2,727	3,000
為替差損	-	3,371
その他	83	22
営業外費用合計	2,915	6,454
経常損失(△)	△79,516	△158,034
特別利益		
関係会社株式売却益	39,730	-
特別利益合計	39,730	-
税金等調整前中間純損失(△)	△39,785	△158,034
法人税、住民税及び事業税	6,550	5,403
法人税等合計	6,550	5,403
中間純損失(△)	△46,336	△163,437
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△46,336	△163,437

## (中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失 (△)	△46,336	△163,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,686	△736
為替換算調整勘定	12,596	27,778
その他の包括利益合計	18,283	27,042
中間包括利益	△28,053	△136,395
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△28,053	△136,395



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失 (△)	△39,785	△158,034
減価償却費	2,924	4,229
為替差損益 (△は益)	△8,884	△8,280
関係会社株式売却損益 (△は益)	△39,730	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△974	7,897
受取利息及び受取配当金	△27,008	△34,491
支払利息	104	61
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,762	167,532
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△99,070	△113,080
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,599	△106,427
その他	151,427	△53,864
小計	24,838	△294,458
利息及び配当金の受取額	26,898	34,817
利息の支払額	△104	△61
法人税等の支払額	△7,769	△8,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,864	△268,112
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△113	△11,700
無形固定資産の取得による支出	△250	-
投資有価証券の取得による支出	△514	△516
敷金の回収による収入	-	8,130
関係会社株式の売却による収入	65,307	-
貸付けによる支出	△2,580,000	△2,530,000
貸付金の回収による収入	2,580,000	3,030,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,430	495,913
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,540	22,409
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,834	250,210
現金及び現金同等物の期首残高	977,403	420,270
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,101,237	670,481

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	361,507	98,192	733,071	712,123	1,904,894	2,700	1,907,594	-	1,907,594
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	361,507	98,192	733,071	712,123	1,904,894	2,700	1,907,594	-	1,907,594
セグメント利益 (又はセグメント損失 (△))	△16,651	3,247	1,156	21,566	9,319	2,393	11,712	△119,590	△107,878

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△119,590千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	318,544	21,162	704,824	480,780	1,525,312	5,448	1,530,760	-	1,530,760
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	318,544	21,162	704,824	480,780	1,525,312	5,448	1,530,760	-	1,530,760
セグメント利益 (又はセグメント損失 (△))	△38,565	△3,614	△27,989	△19,340	△89,510	4,623	△84,887	△101,985	△186,872

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△101,985千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。